



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月5日

上場会社名 ころネット株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6060 URL <http://www.cocolonet.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 高紀
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 羽田 和徳 TEL 024-573-6556
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満は切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	8,320	△7.2	668	△23.6	702	△29.3	500	△32.1
29年3月期第3四半期	8,968	3.5	874	124.7	993	91.3	736	80.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 530百万円 (△23.0%) 29年3月期第3四半期 688百万円 (71.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	130.21	—
29年3月期第3四半期	191.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	20,816	9,092	43.7	2,365.94
29年3月期	21,043	8,696	41.3	2,262.85

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 9,092百万円 29年3月期 8,696百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
30年3月期	—	15.00	—		
30年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,297	△3.2	753	△14.9	775	△23.5	523	△7.7	136.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	3,843,100株	29年3月期	3,843,100株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	125株	29年3月期	125株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	3,842,975株	29年3月期3Q	3,842,975株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報)	8
3. 施行件数の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産活動が回復基調にある他、雇用・所得情勢も堅調に推移しており、全体としては緩やかに回復しております。

当社グループの事業基盤となる福島県の経済は、東日本大震災以前に比べて高水準の経済活動を維持しているものの、回復の動きが弱まっております。

このような環境下、当社グループでは、知名度・ブランド力の向上のためにWebを活用したプロモーション活動等を積極的に行いました。更に葬祭・婚礼事業における施設稼働率向上に向けた取り組みとして、施設におけるイベントの開催や団体・企業への訪問等、地域営業の推進を継続しました。また、4月に石材卸売事業、石材小売事業、生花事業、その他の装販部門を再編し、9月に葬祭事業を営んでいる株式会社たまのやと有限会社牛久葬儀社の合併を行い、組織の効率化と経営資源の集中を図りました。更に、10月に生花事業が青森営業所（青森県上北郡）を開設、12月に有限会社玉橋（福島県本宮市）の完全子会社化を実施し、営業エリアの拡大を図りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は8,320百万円（前年同期比7.2%減）、営業利益は668百万円（同23.6%減）、経常利益は702百万円（同29.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益500百万円（同32.1%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであり、売上高についてはセグメント間の内部売上高または振替高を除き表示しております。

なお当社は、事業子会社の経営統括を主たる目的とする純粋持株会社であり、各連結子会社からの不動産賃貸料収入、経営管理料収入及び配当金を主たる収益としております。一方で、各セグメント(各連結子会社)の営業費用には、当社に対する不動産賃借料及び経営管理料が計上されております。

① 葬祭事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、死亡者数は増加傾向にあるものの、家族葬や直葬などの小規模葬儀のニーズが高まっております。また、同業他社との競争は激しい状況が続いております。

このような状況の下、福島県内の企業に向けた「こころネットパートナー特典※」の推進、「健康」や「終活」をテーマとしたセミナーの開催、終活サロンの開設等、地域営業に努めました。その結果、売上高は4,152百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は235百万円（同14.5%減）となりました。

※こころネットパートナー特典

加入いただいた企業様及びその従業員様が、当社グループで婚礼・葬儀の施行や墓石の購入をされる際に、割引等が受けられる制度です。

② 石材卸売事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、墓石の小型化や埋葬方法の多様化等により墓石需要が低迷しており、価格競争が激化しております。

このような状況の下、インド加工墓石やベトナム産石材の販売に注力し、他社との差別化を図りましたが、大幅な受注増には至りませんでした。また、「KDDシステム※」による経費の削減や仕入コストの圧縮に努めましたが、売上高は1,026百万円（前年同期比11.9%減）、営業利益は41百万円（同49.2%減）となりました。

※KDDシステム

Kanno Design Databaseの略称で、約4,000件の墓石デザインや図面が登録されており、Web上から墓石の寸法、石の色、デザイン等を指定することで希望のお墓を検索できるシステムです。取引石材店様のお客様への商品提案に役立つだけでなく、商品発注作業をスピーディーに行うことができます。

③ 石材小売事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、墓石の小型化や埋葬方法の多様化等により墓石需要が低迷しており、価格競争が激化しております。

このような状況の下、葬祭事業との共同企画で墓石と仏壇の販売促進キャンペーンを実施いたしました。また、建築関連の受注や経費の圧縮等に注力した結果、売上高は987百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益は54百万円（同5.4%増）となりました。

④ 婚礼事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、婚礼施行件数が減少傾向にある中、婚礼ニーズの変化や同業他社の新規出店の影響もあり、厳しい競争環境が継続しました。

このような状況の下、4月に福島県郡山市に少人数婚礼会場「KAI KORIYAMA」をオープンいたしました。また、Webプロモーションによる集客力のアップを図るとともに、接客力のスキルアップによる施行品質の向上に努めました。その結果、売上高は1,552百万円（前年同期比25.2%減）、営業利益は54百万円（同69.4%減）となりました。

⑤ 生花事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、生花需要は低調に推移しました。

このような状況の下、青森営業所を新設し売上増加を図りました。また、生花店や葬儀社等へDMを発送し、新規取引先開拓と既存取引先の掘り起こしを行いました。その結果、売上高は462百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は110百万円（同1.2%減）となりました。

⑥ 互助会事業

互助会事業につきましては、互助会会員による葬儀及び婚礼の施行件数増加を図るため、会員数の増加に努めました。その結果、売上高は0百万円（前年同期比49.8%減）、営業損失は19百万円（前年同期は営業損失9百万円）となりました。

⑦ 介護事業

介護事業につきましては、医療機関・居宅介護支援事務所との連携により、サービス付き高齢者向け住宅の入居率は高水準を維持しました。その結果、売上高は70百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は1百万円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。

⑧ その他

その他の装販部門につきましては、Webショップ「フルールのお棺やさん」を開始し、新規取引先の開拓を図りました。その結果、売上高は65百万円（前年同期比2.7%増）、営業損失は2百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ34百万円増加し4,437百万円となりました。これは主に現金及び預金が減少した一方で、その他（未収還付税金等）が増加したこと等によるものです。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ260百万円減少し16,379百万円となりました。これは主に有限会社玉橋の完全子会社化に伴う固定資産の増加及び前払式特定取引前受金保全のための金銭供託預入により、投資その他の資産（供託金）が増加した一方で、減価償却費計上により建物及び構築物が減少したこと等によるものです。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ528百万円減少し2,142百万円となりました。これは主に短期借入金が増加した一方で、未払法人税等及び1年内返済予定の長期借入金が減少したこと等によるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ94百万円減少し9,581百万円となりました。これは主に有限会社玉橋の完全子会社化に伴い役員退職慰労引当金が増加した一方で、長期借入金が減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ396百万円増加し9,092百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益500百万円に伴う利益剰余金の増加等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,593,091	2,280,134
受取手形及び売掛金	717,246	674,817
有価証券	150,831	304,909
商品及び製品	434,695	401,154
仕掛品	47,051	82,254
原材料及び貯蔵品	32,467	30,382
その他	522,621	763,384
貸倒引当金	△94,908	△99,849
流動資産合計	4,403,097	4,437,187
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,320,939	6,142,295
土地	4,961,311	4,887,342
その他(純額)	140,432	141,968
有形固定資産合計	11,422,683	11,171,606
無形固定資産		
のれん	141,645	220,751
その他	40,725	37,133
無形固定資産合計	182,370	257,884
投資その他の資産		
投資有価証券	1,676,095	1,561,081
営業保証金	640,004	625,980
その他	2,748,865	2,791,370
貸倒引当金	△29,991	△28,492
投資その他の資産合計	5,034,974	4,949,939
固定資産合計	16,640,027	16,379,431
資産合計	21,043,124	20,816,618
負債の部		
流動負債		
買掛金	361,055	336,078
短期借入金	482,000	585,865
1年内返済予定の長期借入金	631,360	471,920
未払法人税等	270,342	20,912
賞与引当金	224,202	111,247
その他	701,629	616,473
流動負債合計	2,670,589	2,142,497
固定負債		
長期借入金	1,265,521	1,063,389
役員退職慰労引当金	—	95,200
前受金復活損失引当金	45,997	38,478
資産除去債務	144,625	165,239
負ののれん	105,341	96,046
前払式特定取引前受金	7,828,827	7,840,667
その他	286,149	282,847
固定負債合計	9,676,461	9,581,868
負債合計	12,347,051	11,724,366

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,658	500,658
資本剰余金	2,032,312	2,032,312
利益剰余金	6,059,853	6,425,759
自己株式	△120	△120
株主資本合計	8,592,704	8,958,611
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,255	51,304
為替換算調整勘定	75,114	82,336
その他の包括利益累計額合計	103,369	133,641
純資産合計	8,696,073	9,092,252
負債純資産合計	21,043,124	20,816,618

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	8,968,209	8,320,680
売上原価	5,867,936	5,525,861
売上総利益	3,100,272	2,794,818
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	6,479	5,468
給料及び賞与	953,690	892,950
賞与引当金繰入額	60,312	61,071
退職給付費用	29,528	29,762
その他	1,175,371	1,137,374
販売費及び一般管理費合計	2,225,380	2,126,627
営業利益	874,891	668,190
営業外収益		
受取利息	25,691	18,263
受取配当金	3,187	3,311
負ののれん償却額	9,294	9,294
持分法による投資利益	967	2,860
掛金解約手数料	31,298	26,969
その他	97,705	57,656
営業外収益合計	168,144	118,355
営業外費用		
支払利息	20,411	9,441
前受金復活損失引当金繰入額	7,787	2,042
支払手数料	10,619	—
休止固定資産減価償却費	—	42,361
遊休資産諸費用	—	21,354
その他	10,653	9,126
営業外費用合計	49,472	84,326
経常利益	993,564	702,220
特別利益		
固定資産売却益	296	10,833
保険解約返戻金	54,243	—
その他	—	423
特別利益合計	54,540	11,257
特別損失		
固定資産売却損	9,848	7,775
固定資産除却損	29,611	10,658
減損損失	5,900	—
その他	—	694
特別損失合計	45,360	19,128
税金等調整前四半期純利益	1,002,744	694,349
法人税、住民税及び事業税	266,449	141,186
法人税等調整額	△520	52,752
法人税等合計	265,928	193,939
四半期純利益	736,815	500,410
親会社株主に帰属する四半期純利益	736,815	500,410

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	736,815	500,410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,246	23,049
持分法適用会社に対する持分相当額	△59,216	7,222
その他の包括利益合計	△47,969	30,271
四半期包括利益	688,845	530,682
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	688,845	530,682
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結累計期間における特定子会社の異動はありません。

また、当第3四半期連結累計期間において、葬祭事業を営む有限会社玉橋を完全子会社化し、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							
	葬祭事業	石材卸売事業	石材小売事業	婚礼事業	生花事業	互助会事業	介護事業	計
売上高								
外部顧客への売上高	4,209,754	1,165,099	925,833	2,074,879	457,057	1,136	68,541	8,902,301
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,009	211,341	87	184,172	391,018	290,070	—	1,078,698
計	4,211,763	1,376,441	925,920	2,259,051	848,075	291,206	68,541	9,980,999
セグメント利益又は損失(△)	275,375	81,162	51,387	177,449	112,290	△9,687	△512	687,466

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	63,657	8,965,959	2,250	8,968,209
セグメント間の内部売上高又は振替高	59,229	1,137,927	△1,137,927	—
計	122,887	10,103,887	△1,135,677	8,968,209
セグメント利益又は損失(△)	△1,225	686,240	188,651	874,891

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである装販部門であります。

2 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額は、持株会社である当社の不動産収入であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社利益488,720千円、各報告セグメントからの受取配当金の消去額△294,000千円、セグメント間取引消去9,979千円、のれん償却額△9,358千円、その他の調整額が△6,690千円であります。なお、全社利益は、当社の主たる収益である各連結子会社からの経営管理料収入及び不動産賃貸料収入等によって生じた利益であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							
	葬祭事業	石材卸売事業	石材小売事業	婚礼事業	生花事業	互助会事業	介護事業	計
売上高								
外部顧客への売上高	4,152,275	1,026,981	987,382	1,552,599	462,691	570	70,561	8,253,063
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,185	46,976	—	167,426	392,744	277,015	—	887,348
計	4,155,460	1,073,958	987,382	1,720,026	855,436	277,585	70,561	9,140,411
セグメント利益又は損失(△)	235,517	41,238	54,152	54,364	110,964	△19,820	1,815	478,231

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	65,366	8,318,430	2,250	8,320,680
セグメント間の内部売上高又は振替高	53,607	940,956	△940,956	—
計	118,974	9,259,386	△938,706	8,320,680
セグメント利益又は損失(△)	△2,943	475,288	192,902	668,190

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである装販部門であります。

2 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額は、持株会社である当社の不動産収入であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社利益657,139千円、各報告セグメントからの受取配当金の消去額△465,000千円、セグメント間取引消去7,781千円、のれん償却額△10,105千円、その他の調整額が3,087千円であります。なお、全社利益は、当社の主たる収益である各連結子会社からの経営管理料収入及び不動産賃貸料収入等によって生じた利益であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、当社は有限会社玉橋の全株式を取得し連結子会社といたしました。当該事象によるのれんの増加額は当第3四半期連結累計期間においては90,414千円であります。

3. 施行件数の状況

当社グループのセグメントのうち主な事業である葬祭事業及び婚礼事業に係る葬儀、婚礼施行件数の当第3四半期連結累計期間における状況は次のとおりであります。

(1) 葬祭事業

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
	葬儀施行件数 (件)
株式会社たまのや 福島事業部	890
株式会社たまのや 郡山事業部	268
株式会社たまのや 会津事業部	386
株式会社たまのや 関東事業部	199
株式会社たまのや 催事事業部	1,488
合計	3,231

(注) 催事事業部における葬儀施行件数は、株式会社J Aライフクリエイティブ福島との業務受託契約による施行件数であります。

(2) 婚礼事業

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
	婚礼施行件数 (件)
株式会社With Wedding 福島事業部	153
株式会社With Wedding 郡山事業部	216
株式会社With Wedding 会津事業部	55
合計	424

(注) 上記施行件数については、パーティー・宴会等の施行件数は含まれておりません。